

エコアクション21  
環境活動レポート

2017年度  
(2016年9月1日～2017年8月31日)

 大協磨鋼材株式会社

作成 2017年 11月 30日

## 1. 組織の概要

①事業所名 大協磨鋼材株式会社  
代表者氏名 代表取締役 外川 弘幸

②所在地 〒653-0025  
兵庫県神戸市長田区真野町1番3号  
(連絡先) E-mail : kobe@dh-daihaku.co.jp  
TEL : 078-651-3033  
FAX : 078-651-3036

③環境管理責任者 総務部長 外川 英雄  
担当者氏名 総務課 泉 由佳

④事業の内容 鉄鋼販売卸売業

## ⑤事業の規模

(表1)

活動規模	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
売上高	百万円	357	373	357	381
従業員	人	11	13	11	11
床面積	m <sup>2</sup>	517	517	517	517
クレーン (2.8 t)	基	3	3	3	3
切断機械	台	7	7	7	7

## ⑥認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 大協磨鋼材株式会社(神戸市長田区真野町1-3)  
関連事業所 : 第2倉庫(神戸市長田区苅藻通1丁目3-18)  
対 象 外 : なし  
活 動 : 鉄鋼販売卸売業

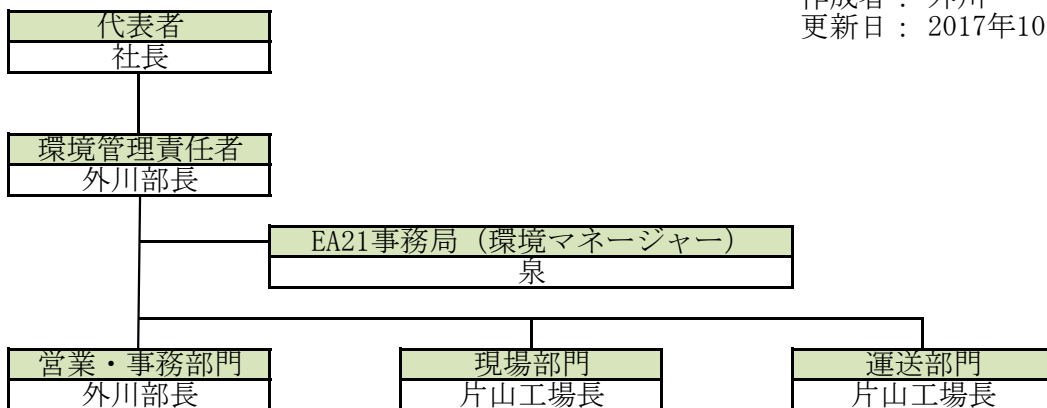
## ⑦事業の経緯

昭和37年4月に大博鋼業株式会社の神戸営業所的役割として発足。  
以来、一般鋼材卸売の専門業社として在庫量の豊富さ、完全なる品質管理のもとに“よい品をより安く” また受注に対する納品の機敏さをモットーに営業活動を致しております。磨棒鋼一本に生命を捧げていた弊社は、各需要家の皆様に御満足いただけるよう今後共着実な努力を重ねてまいり次第でございます。

⑧組織図

大協磨鋼材(株) EA21 実施体制図および役割・責任・権限表

作成者：外川  
更新日：2017年10月1日



部署	役割	担当者
	CO <sub>2</sub> 排出量管理者	片山
	電気（低圧電力）使用量管理者	柴田
	電気（従量電灯）使用量管理者	石田
	ガス使用量管理者	石田
	ガソリン使用量（燃費）管理者	芝村・柴田
	軽油使用量（燃費）管理者	芝村
	一般廃棄物排出量管理者	島本
	水使用量管理者	石田
	スクラップ排出量管理者	豊岡・片山
	切削油使用量管理者	清川
	業務用エアコン点検・整備管理者	外川

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書・環境活動レポートを承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築・実施・管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ票を承認、及び遵守評価の承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
E A21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境目標・環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成と公開（事務所備付）</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施</li> </ul>
管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の集計及び部門長への報告</li> <li>自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 2. 環境方針

# 環 境 方 針

弊社は企業活動を通じて環境問題が人類共通の重要な課題であることを認識し、地球環境の保全や環境法規の遵守に努め、環境と調和した豊かな社会づくりに貢献します。

1. わが社は、鉄鋼販売卸売業の会社として全社員で協力し、環境経営システムを構築し、下記事項を重点テーマとして、効果的な取り組みを行います。
  - (1) 鉄鋼製品の切断時に発生する端材を有効活用し、スクラップ量の削減に努めます。
  - (2) 電気・水・燃料等、資源やエネルギーの使用量削減に努めます。
  - (3) 一般廃棄物の排出量削減に努めます。
2. 環境関連法規、各市町村条例を遵守致します。
3. グリーン購入の推進に努めます。
4. 化学物質の管理に努めます。
5. この環境方針をもとに環境目標を定め、見直し・改善を行い、環境管理レベルの向上を図ります。
6. 以上の環境方針を全社員に周知徹底し、環境に対する意識を各々高め会社全体の環境保全に努めます。

2013年9月1日 改定  
大協磨鋼材株式会  
代表取締役 外川 弘幸

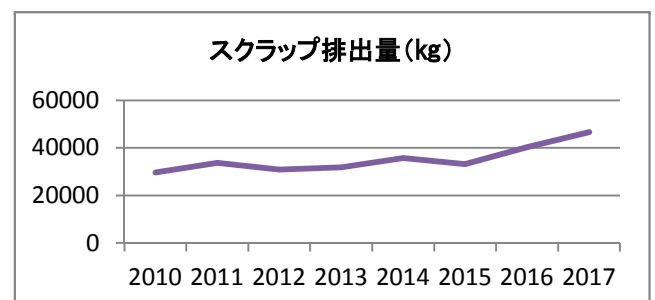
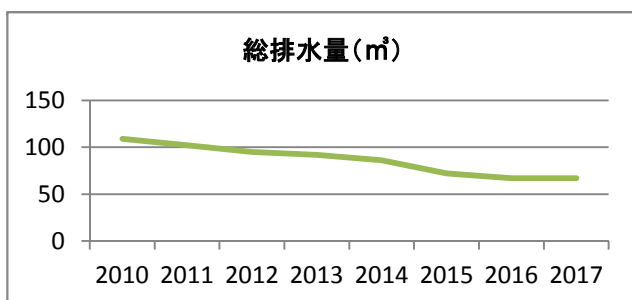
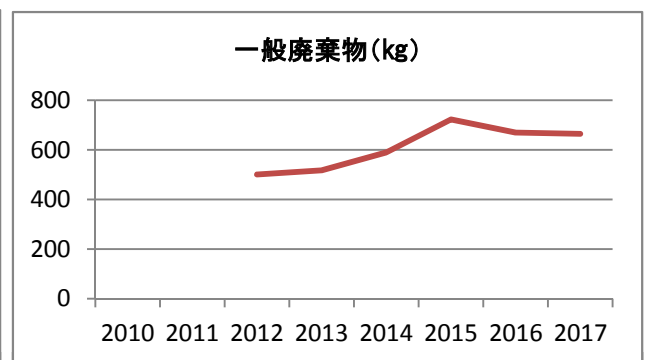
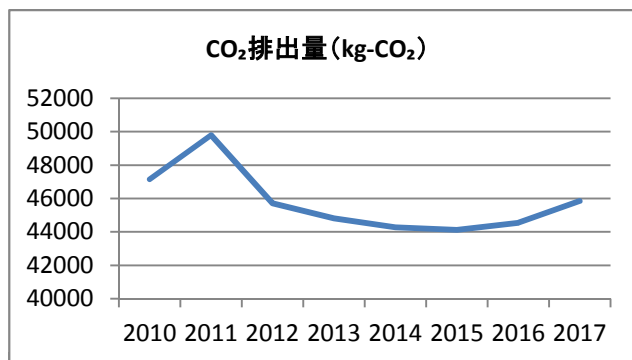
### 3. 環境活動の実績

(表2)

項目	単位	2015年度	2016年度	2017年度
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	44,129 14613(電気)・29516(燃料)	44,540 13931(電気)・30609(燃料)	45,855 15193(電気)・30662(燃料)
一般廃棄物排出量	kg	722	670	664
総排水量	m <sup>3</sup>	72	67	67
スクラップ排出量	kg	33,190	40,350	46,630
グリーン購入	品目数	37	39	16
	購入金額	¥104,150	¥70,871	¥109,148

\*CO<sub>2</sub>排出量算出に用いた電力の排出係数は0.358(関西電力参照値)とした。

主要な項目の年度ごとの排出量の推移を下のグラフに示した。



#### 4. 主な環境活動計画の取組結果と評価

(表3)

	項目	計画	担当者	9~8月評価
CO <sub>2</sub> 排出量	電力の削減	・ 1階事務所の消灯	柴田	○
		・ ロッカー室、食堂、詰所など、使用頻度の低い照明は使用時のみ点灯		○
		・ ブラインドの活用		○
		・ 空調機の温度管理		○
		・ エアコンフィルターの3ヶ月に1回掃除		○
		・ すべての切断機の電源をおとす。夜間運転の場合は除く		○
		・ 空気圧縮機の電源をおとす		○
	都市ガスの使用量削減	・ 最小限の使用・管理を行う	石田	○
	ガソリン及び軽油の燃費向上	・ なるべく急発進・急ストップをしないように心がける	芝村	△(※1)
・ 配送ルート効率化		○		
・ ガソリン・軽油の各自使用量の把握		○		
一般廃棄物排出量	紙使用量の削減	・ 分別	高原	○
		・ 使用した紙をメモ用紙に再利用の徹底		○
	新聞紙	・ 新聞紙の再利用の徹底		○
	かん	・ 分別		○
	可燃ごみ	・ 分別		○
水使用量	水使用量の削減	・ 節水を心がける	石田	○
		・ 洗車時の節水		○
		・ 水漏れ発見時直ちに管理者へ報告		○
		・ 1階水道の排水管理		○
スクラップ排出量	スクラップ排出量の削減、及び原単位管理	・ 端材の使用の優先順位	豊岡	△(※2)
		・ 手動切断による端材の削減		△(※3)
		・ 端材の捨てる長さを決定しまだ使える端材を捨てないようにする		○
その他	切削油の管理	・ 水との混合比の管理	片山	○
		・ 機械からの切削油の流出防止の徹底		○
		・ 材料について流れ落ちる切削油を減らす		○
		・ 機械毎に使用量を計測する		○
	グリーン購入	・ 物品購入時にグリーン購入を意識する	外川	○
	化学物質の管理	・ 化学物質が含まれる製品（スプレー）の使用量を管理する	外川	○

施策実施の評価…○：出来ている △：充分でない ×：出来ていない

- ×：出来ていない項目はありませんでした。  
 △：(※1)状況により怠ることもある。  
 (※2)端材がある事に気付かない事がある。  
 (※3)一部出来ているにとどまっている。

## 5. 環境活動の取組結果評価

(表4)

目標	単位	2016年度を 基準として	2017年度 9月～8月	評価	前年比 (%)
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	44,540 (1%)	45,855	×	103.0%
電気使用量(低圧電力)の削減	kWh	25,707 (1%)	29,458	×	114.6%
電気使用量(従量電灯)の削減	kWh	13,206 (1%)	12,981	○	98.3%
ガス使用量の削減	m <sup>3</sup>	181	249	-	-
軽トラック(ガソリン)の燃費向上	km/L	10.03 (1%)	10.81	○	107.8%
1t車(ガソリン)の燃費向上	km/L	7.64 (1%)	7.93	○	103.8%
3t車(軽油)の燃費向上	km/L	7.86 (1%)	7.94	○	101.0%
菊川組3t(軽油)の燃費向上	km/L	6.37 (1%)	6.29	×	98.7%
一般廃棄物排出量の削減	kg	670 (1%)	664	×	99.1%
総排水量の削減	m <sup>3</sup>	67 (1%)	67	×	100.0%
スクラップ排出量の削減	kg	40,350 (1%)	46,630	×	115.6%
スクラップ原単位の向上	kg/万円	1.130 (1%)	1.223	×	108.2%
切削油の削減	L	83.00 (1%)	91.50	×	110.2%
グリーン購入の推進	品目数	購入量の計測	16	-	-
化学物質の管理(スプレー缶)	kg	購入量の計測	0.845	-	-

### ①CO<sub>2</sub>排出量の削減

・(電気使用量・低圧電力) 前年比114.6%と大幅に増加しました。売上も若干増でしたがそれ以上の増加となっています。ドライ粉の廃棄量が増加しているデータもある事などから、切断の商品が増加し機械の稼働時間が増加したためと推測されます。

・(電気使用量・従量電灯) 前年比98.3%と削減出来ました。普段からの節電意識が継続出来た結果と言えます。

・(ガソリンの燃費向上・軽トラック) 前年比107.8%と大幅に向上出来ました。11月に老朽化のため新車に入れ替え、その月から大幅に向上しました。

・(ガソリンの燃費向上・1tトラック) 前年比103.8%と向上出来ました。

・(軽油の燃費向上・3tトラック) 前年比101%と向上出来ました。

・(軽油の燃費向上・菊川組3tトラック) 前年比98.7%と悪化しました。ここ数年を見てもじわじわと悪化しています。相当年数が経っているので恐らく老朽化に起因するものと考えられます。トラック全般に言える事ですが、積載量による燃費への影響が大きいと考えられ、小さな努力が結果に現れない事もありますが、引き続きドライバーはエコドライブの実施を徹底し、目標に向け取り組みたいです。

### ②一般廃棄物排出量の削減

・前年比99.1%と削減出来ました。年度目標を達成することは出来ませんでした。一般廃棄物の量は仕入商品の梱包材の割合が大きく、仕入量に左右される事が大きいと思われ、今後も少しでも削減出来る様に努力を続けていきたい。

### ③総排水量の削減

・前年比100%と同じ量でした。削減することは出来ませんでした。節水の意識が継続できている結果だと思います。

### ④スクラップ排出量の削減

・排出量、原単位ともに年度目標を達成することが出来ませんでした。低圧電力の増加や切削油使用量の増加などから切断品販売の大幅な増加が推測でき、その為スクラップも増加したのではと考えます。

### ⑤切削油の削減

・前年比110.2%と大幅に増加してしまいました。削減への取組は継続して行っているものの大きく増加したことは上の④でも記載していますが、切断品が増加したものと考えられます。必要以上に削減するのは他に悪影響を及ぼす恐れがあるので、今後も出来る範囲で削減に努めて行きます。

### ⑥その他

・ガス使用量・グリーン購入・化学物質の管理はいずれも計測を行い、前項の表4の結果となりました。今後も使用量を再確認するためにも、2018年度も計測を行います。

## 6. 環境関連法規等への違反の有無

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反・訴訟等はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

(表5)

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動など）
廃棄物処理法	一般廃棄物
消防法	スプレー缶・灯油・防錆油
NOX・PM法	営業車・トラック
PCリサイクル法	パソコン
家電リサイクル法	エアコン・冷蔵庫・洗濯機
自動車リサイクル法	自動車
フロン排出抑制法	業務用エアコン

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

・今年度の環境活動結果はCO<sub>2</sub>の総排出量において、電気使用量の増加、また各車の燃費は概ね改善出来たものの燃料消費量が増加したため前年比103%と増加してしまい目標は達成出来ませんでした。また重点項目であるスクラップの排出量についても削減の努力は継続しているものの昨年に引続き増加しており、成果が現れない状況となっています。

・電力によるCO<sub>2</sub>排出係数については、2011年のEA21運用開始当初から0.358（関西電力2005年度）を用いてきましたが、データが古いので来年度から0.496（関西電力2015年度）を用います。

・スクラップの計測については従来よりドライ粉を含んだ重量を記載していましたが、ドライ粉は切断業務により必然的に発生するものであるため削減の対象ではないと考え、来期からはドライ粉を含まないスクラップのみの計測値に変更します。環境活動実績書の基準値データもドライ粉を含まない数値に変更します。



## 8. 次年度の取組

今年度から担当者を2名に増員した、電気・燃費・スクラップ削減の3項目のうち電気と燃費については今年度から分けた項目毎に担当者を1名にすることにしました。

また今年度、少し残っている蛍光灯のLED化を予定しています。（一部老朽化のため、事務所の残り・食堂・1階事務所・他） 蛍光灯からの変更であるのと場所も一部であるため190W程度の削減と大きく削減は出来ませんが、少しは削減できるものと思われま

### ・環境目標設定と次年度以降の目標値

環境目標については、今期までは前年を基準年度とし1%改善を目標としてきました。しかし年度毎の実績の変動が大きく毎年目標値が大きく変わり基準としづらいこと。またEA21に取組んで5年が経過し毎年改善し続ける事が困難になってきている事から、来期からは過去3年間（2015～2017年度）の平均値を基準値とし、それより1%改善を目標とします。そして数年は基準値を変えず数年後に見直す事とします。

（軽トラックと3tトラックの燃費については、車の入替等で3年分のデータが取れていないため、従来通り前年を基準とします。）

次項の表6に環境目標設定書として具体的数値を示しました。

(表6)

環境目標設定書				承認	確認	作成
				外川社長	外川	外川
				代表者	管理責任者	担当
負荷の自己チェック コア指標	環境目標項目	責任者	基準値		年度目標	
			2015～2017年度の平均値		2018～2020年度	
CO <sub>2</sub> 排出量	電力のCO <sub>2</sub> 排出量削減	柴田	低圧電力 27,520 kWh	基準値比 目標値	99%	27,245 kWh
		石田	従量電灯 13,204 kWh	基準値比 目標値	99%	13,072 kWh
	自動車燃料のCO <sub>2</sub> 排出量の削減 (燃費向上)	芝村	軽トラック(ガソリン) 10.81 km/ℓ	基準値比 目標値	101%	10.92 km/ℓ
		柴田	1tトラック(ガソリン) 7.96 km/ℓ	基準値比 目標値	101%	8.04 km/ℓ
		芝村	3tトラック(軽油) 7.94 km/ℓ	基準値比 目標値	101%	8.02 km/ℓ
		芝村	菊川組3tトラック(軽油) 6.38 km/ℓ	基準値比 目標値	101%	6.44 km/ℓ
	廃棄物排出量	一般廃棄物排出量 の削減	島本	685 kg	基準値比 目標値	99%
水使用量	総排水量の削減	石田	68.6 m <sup>3</sup>	基準値比 目標値	99%	67.9 m <sup>3</sup>
端 材	スクラップ排出量 の削減 (原単位管理)	豊岡 ・ 片山	31,260 kg	基準値比 目標値	99%	30,947 kg
			0.796 kg/万円	基準値比 目標値	99%	0.788 kg/万円
切削油 使用量	切削油の削減	清川	90.26 ℓ	基準値比 目標値	99%	89.36 ℓ